

「いろ葉」開館一周年・来館者10万人記念事業について

1 実施の経緯

令和6年4月に「いろ葉」が開館し、令和7年10月末に来館者数が10万人を達成した。これを記念し、開館一周年事業として、榛原高等学校（吹奏楽部・グローバル部）と共催でセレモニーおよびイベントを実施した。

2 事業内容（令和7年11月3日実施）

（1）来館者10万人達成セレモニー（午前9時30分～10時）

- ・10万人目の来館者となったご家族へ記念品（証明書、花束、ぬいぐるみ）を贈呈。
- ・市長、教育長、図書館協議会会長が出席。
- ・榛原高校吹奏楽部（18名）が3曲を演奏し、曲紹介も生徒が担当。
- ・来場者には記念のオリジナル缶バッジを配布。
- ・風が強い中、グローバル部員が楽譜を押さえ補助するなど、高校生同士の連携も見られた。

（2）榛原高校グローバル部によるイベント（午前10時～午後3時）

① しおり作りワークショップ（文化センター3階）

- ・高校生が講師役となり、オリジナルしおり作りを実施。
- ・混雑時の動線整理や材料配置の改善など、生徒がその場で判断し運営を工夫。
- ・親子で楽しむ姿が多く見られた。
- ・参加者：68人

② 謎解き&脱出ゲーム（図書館内）

- ・館内に設置した「謎（クイズ）」を解き、文字を組み合わせてメッセージを完成させると“脱出”できる仕組み。
- ・初級編・上級編を選択可能。受付で説明後、館内に配置した生徒がヒントを提供。
- ・脱出者にはお菓子をプレゼント。
- ・参加者：84人

3 準備・運営上の工夫

- ・職員が高校へ出向き、生徒に対し事業説明や部活動での参加を依頼することで、連携体制を整えた。
- ・セレモニー開始が開館前であったため、事前に「おたのしみ引換券」を配布し集客を図った。
- ・吹奏楽部の演奏場所は、当日の状況（視線・風）を踏まえ柔軟に変更した。
- ・しおりや謎解きの消耗品などは図書館で準備したが、イベントは生徒主体で実施。

4 成果

- ・高校生が主体的に企画・運営に関わり、地域連携の良いモデルとなった。
- ・親子連れを中心に多くの参加があり、図書館の賑わい創出につながった。
- ・セレモニー・イベントともに大きなトラブルなく実施でき、来館者10万人達成の節目を地域とともに祝う機会となった。
- ・地域住民を巻き込むことで図書館への愛着が高まり、その後の来館につながることが期待できる。

5 当日の様子



10万人目のご家族



セレモニーに集まった来館者



吹奏楽部による演奏



記念缶バッジのプレゼント



しおり作りワークショップ



謎解き&脱出ゲーム